宮代町学校給食運営審議会 第1回会議録

開催日時	令和7年2月7日（金） 午後2時00分～午後3時15分	会場	宮代町立給食センター 2階会議室					
委員出席状況								
	氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠		
1	鈴木 仁志	欠席	6	金野 泰久	欠席	11	栗原 利夫	欠席
2	平山 隆志	出席	7	塚越 健一	出席	12	長井 勝利	出席
3	井浦 剛	欠席	8	高野 桂子	出席	13	梶村 つぐみ	欠席
4	杉木 夏苗	欠席	9	山口 隆夫	出席	14	岩崎 智美	欠席
5	吉田シゲ子	出席	10	谷 義明	出席	15	田中 葉月 (須賀小代理)	出席
<p>宮代町教育委員会教育長 中村 敏明 栄養教諭 佐藤悠子、大海康輔 教育総務担当副課長兼給食センター所長 小川雅也 / 主任 埜中美也</p>								
会議次第								
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 挨拶 3. 自己紹介 4. 正副会長選出 5. 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度学校給食事業評価について (2) 学校給食喫食状況について (3) 食器破損状況について (4) 地場産農産物の活用状況について (5) 令和7年度学校給食予定について (6) 食材費価格高騰への対応について (7) 宮代町学校給食における食物アレルギー対応調査結について (8) 新型コロナウイルス感染症対策の解除について <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の机の向きについて ・ おはしを忘れた児童・生徒への対応について ・ 給食用牛乳パックの処理について 6. その他 7. 閉 会 								

1 開会

【事務局】(小川副課長)

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第1回学校給食運営審議会を開会いたします。

本日、次第の4、正副会長選出までの進行を務めます学校給食センター所長の小川でございます。

よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は、7名と代理出席1名です。

宮代町学校給食運営審議会条例第6条の規定に基づく定足数に達しておりますので、はじめに御報告いたします。

はじめに、本審議会の概要を申し上げます。

本日お配りした別紙、「宮代町学校給食運営審議会条例」を御覧ください。

本審議会は、第1条にあるとおり学校給食の適正な運営を図るとともに、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与するため、設置されています。

第2条は本審議会の調査審議事項となり、町教育委員会からの諮問に応じて給食計画等を所掌しています。

第3条の組織ですが、第1号から第8号に掲げる方にご参加いただいております。

第4条の任期についてですが、原則4月1日からの2年となっておりますが人事異動等もありますので、1年ごとに状況を確認させていただいております。

2 挨拶

【事務局】(小川副課長)

次第の2、挨拶、審議会の開催にあたり、宮代町教育委員会、教育長の中村から御挨拶させていただきます。中村教育長、よろしくお願いいたします。

—教育長挨拶—

ありがとうございました。

中村教育長につきましては、公務のため退席させていただきます。

3 自己紹介

【事務局】(小川副課長)

次第の3、それでは、第1回の会議となりますので、ここで委員の皆さまに自己紹介をお願いしたいと存じます。はじめに、事務局から自己紹介を行いまして、続いて、お手元の資料の名簿順で行いたいと思います。

事務局 ⇒ 栄養教諭 ⇒ 委員名簿順

ありがとうございました。

4 正副会長選出

【事務局】(小川副課長)

それでは、次第の4、正副会長の選出に移ります。

審議会条例第5条の規定により、審議会には、会長及び副会長を置くこととなっております、会長が会議の議事進行を進めることとなっております。

学校給食研究委員会の会長、副会長につきましては事務局より指名をさせていただきたいと思います。塚越委員に会長、副会長には、識見者として委員をお願いしております食生活改善推進員協議会の吉田委員を選出させていただきたいと思います。皆様から御承認をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

<全員了承>

次第の5「議題」からの進行につきましては、塚越会長に進行をお願いしたいと思います。塚越会長、よろしく申し上げます。

5 議題

【会長】(塚越校長)

それでは次第5に入らせていただきます。

はじめに、(1)「令和6年度学校給食事業評価」について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(事前配布資料の「令和6年度学校給食事業評価」に従い説明)

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

令和6年度学校給食事業評価はこのとおりとさせていただきます。

次に(2)学校給食喫食状況について、栄養教諭より説明をお願いします。

(大海栄養教諭)

(当日配布資料「12月喫食率」に従い説明)

令和6年12月の喫食状況について、説明。

和食の日に残飯が多いです。聞きなれない食べ物に抵抗があるようです。ご飯の残りが全体的に多いです。12月には高野豆腐、ヤーコン、納豆の残りが多かったです。意外と食べると食べられるということがあるので、ちょっとした声掛けが喫食率をあげるきっかけになるのではないのでしょうか。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (3) 食器破損の状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「食器破損状況集計表」に従い説明)

食器の破損の件数に関しましては累計の整っている12月末日現在にて、令和6年度と令和5年度の資料を配布いたしました。

陶器を使用しているため、経年劣化によりひび割れ等がどうしても発生する状況です。

特に汁椀については、椀の底が抜けることが多いと報告を受けています。

破損については随時給食センターで確認し新しいものに取り換えています。どうしても小さなひび割れなど、目視では限界があるため、学校にそのまま配送されてしまう現状があります。

今後も、確認は実施していきますが、各学校へご迷惑がかかることがあるかもしれませんので、御理解賜りますようお願いいたします。

また、今年度につきましては、現時点で児童生徒に怪我等が発生するケースはなかったと聞いております。

予算面にて検討した結果、ここ数年ですぐに陶器からPEN食器へ変更するということはございませんが、子供たちへの安全面への配慮からPEN食器への移行等も引き続き検討していきたいと思っております。

引き続き、安全に給食を提供できるよう努めてまいります。

以上です。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

【副会長】(吉田委員)

中学生は破損率が少ないですが、小学生にて破損率が多い気がします。なぜでしょうか。

【事務局】(埜中主任)

小学生低学年では手が小さいため、手から食器が滑り落ちて割れてしまう、ということがあるようです。

【会長】(塚越校長)

次に (4) 地場産農産物の活用状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「地場産食材の使用報告」に従い説明)

今年度の現在の使用状況、前年度の使用状況を配布させていただいております。

令和5年度と比較し、地場産の使用量は概ね変わらない状況です。

個別の野菜の活用状況としては、今年度は、「アスパラガス」を使用しました。

給食事業評価においても、地場産の食材を消費することで、地域を活性化する力になっていきたいとの意見をいただいております。

今後も地場産野菜の町内の農家の皆様・新しい村と協力しながら積極的に活用に取り組んでまいります。

以上です。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (5) 令和7年度学校給食予定について、栄養教諭より説明をお願いします。

(佐藤栄養教諭)

(当日配布資料「年間給食計画表・給食年間回数」に従い説明)

中学生の給食は3月11日までとなっています。外国料理、郷土料理は人物にゆかりのある土地の料理を令和6年度は給食として出してきました。令和7年度は世界陸上に加え、世界遺産のある都道府県の料理を中心に給食に出していく予定です。我が家の自慢献立について先日応募いただきました。これから予定を組んでいき、令和7年度、令和8年度で使っていく予定です。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (6) 食材費価格高騰への対応について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(小川副課長)

(当日配布資料「学校給食の食材費公費負担について、学校給食費に係る教職員負担額の改訂について」に従い説明)

近年食材費が高騰している中で、令和5年度に引き続き、令和6年度におきましては、当初予算から町財源による補填をしましたが、米飯価格が上昇するなど不足が見込まれたため、12月議会にて補正予算を組みました。補正額につきましてはお手元の資料のとおりで、今回の補正にあわせて、小学校1食あたり35円、中学校1食あたり41円、町で負担となります。

令和7年度におきましては、議会の予算審議中ですが、高騰分を小学校1食あたり35円、中学校1食あたり46円を町からの補填として予定しております。

つきましては、不足分の補填は町民からの税金で賄われていることを鑑み、令和7年度からは教職員の皆様に実際に食材費としてかかる補填額を含めた費用を御負担いただきます。

また、食材費は原則御家庭の負担となっておりますので、今後給食費の値上げについても検討していく必要があると考えております。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(意見、質問なし。)

次に (7) 宮代町学校給食における食物アレルギー対応調査結果について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「宮代町学校給食における食物アレルギー対応調査結果」に従い説明)

令和6年12月27日付で依頼をさせていただいておりました宮代町学校給食における食物アレルギー対応調査につきまして結果がまとまりましたので御報告申し上げます。

児童生徒のアレルギー把握時に、面談等の調整が大変であることや、給食時にヒューマンエラーが起こらないよう何重にもチェックや声掛けがされているが、学校職員が全ての責任を負うのは負担であるとの御意見をいただきました。

また、要望、不安等につきまして、今後対応児童が増えた場合、対応しきれぬか不安であるとの声や、今後の対応について見直していく必要があるのではないかと御意見や、保護者の方の協力や配慮が欠けているのではないかと御意見もいただきました。

アレルギー対応につきましては、学校、給食センター、それぞれ安心安全に給食を提供できるよう毎日御尽力いただきありがとうございます。誤食は命に関わることなのでご負担がかなりかかっていることと存じます。

対応食材につきましては、現在の品目数から増やさないという方向でやっておりますが、対応食材、アレルギー対応が必要な人数が増えることへの不安等の御意見を多数頂戴いたしましたので、今後食材の精査をして、対応品目等検討していきたいと思っております。

また、アレルギー対応アプリの取入れなどにより、負担の軽減の検討もしていきたいと思っております。
以上です。

【会長】(塚越校長)

この件について、御質問等ございませんか。

(平山委員)

エピペンを打つなど、アレルギーの子どもへの対応は全教員ができるのですか。

【会長】(塚越校長)

子ども一人一人について、対応が違いますが、夏休みに職員のアレルギー対応の研修をしています。児童はランドセルのポケットにエピペンを入れており、該当の子どもランドセルの入れ場には赤テープを貼って、一目でわかるようにしています。職員間での情報共有も行っています。

【会長】(塚越校長)

次に(8) 新型コロナウイルス感染症対策の解除について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(埜中主任)

(当日配布資料「給食時間の約束、感染対策強化バージョン」「はしを忘れた児童・生徒への対応について」「給食用牛乳パックの処理について」に従い説明)

お手元の資料の、「給食時間の約束、感染対策強化バージョン」をご覧ください。こちらに従い、令和2年より感染症対策をしながら学校給食を実施してまいりました。令和7年4月からの運用はどのようにしていくか、皆様にご意見いただければと思います。

次第にありますようにご意見いただきたい点は3つございます。①食事時の机の向きについて、②おはしを忘れた児童・生徒への対応について、③給食用牛乳パックの処理について、です。こちらにつき

まして、皆様に御意見いただきたいと思います。

【会長】(塚越校長)

この件について、御意見等お願いいたします。

■机の向きについて

(山口委員)

- ・学校単位でというよりは、町として統一して方向性を決めてほしいです。

(高野委員)

- ・強化バージョンの用紙は今後も出すのでしょうか。

【事務局】(小川副課長)

- ・令和2年度の時に別紙として配布いたしました。新型コロナウイルス流行前に戻すのであれば配布はいたしません。一部残すのであればマニュアル本体に該当箇所を入れるという方法もあります。

(山口委員)

- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等無くなっているわけではないと思います。対面での食事は感染リスクが高いと思います。現状として感染が起きて学級閉鎖が起こったときに、その後の教育活動にリスクがあります。学校教育がとまるということに関しては慎重な対応が必要なのではないでしょうか。

(高野委員)

- ・ずっと「感染対策強化 Ver.」のとおりではなくても良いかと思います。色んなものが一年中流行っていると思います。新型コロナウイルス流行前に全てを戻すのは難しいと思います。ウイルスの流行が著しいときにはこれをやる、というのは残したほうが良いと思います。感染症対策は残した方が良いでしょうか。

(谷委員)

- ・この形で生徒たちは慣れていると思います。前を向いて食べることにより、食べるテンポはよくなっています。

(長井委員)

- ・新型コロナウイルス等の感染症の流行が著しい場合以外は学校においてとありますが、この場で対応方法を統一した方がよいとのことだったと思います。隣と話しながら、現状でも十分楽しく喫食しているのではないのでしょうか。新型コロナウイルスが重症化しないことから班にしても良いのではないかと思います。「まだ」という反応があるのであれば班はまだ見送る方向でよいのではないのでしょうか。

(平山委員)

- ・対面喫食がいけないというエビデンスがはっきりしないと思います。どれぐらい席と席の間隔を離せるのか、学校によると思います。判断の材料が曖昧で判断できません。飲食店ではアクリル板の設置はなく、皆飲食していると思います。リスクを減らそうということであればこのままだと思います。夏は班にする、冬は前向き、のようにしても良いのではないのでしょうか。

(田中委員)

- ・配膳については大きく変わったところだと思います。職員も新型コロナウイルス流行後にいらした方

が多く、この形に慣れています。机の向きは、前向き喫食の方が担任としては指導しやすいです。親としては、給食がおいしかった時に子ども同士でおいしいねと向かい合って話せないのは残念だと思います。

【会長】(塚越校長)

・インフルエンザの時は対面にすると流行るイメージです。しかし、向かい合った方が楽しいと思います。

(山口委員)

・食べるという点では、前向きの方がよくかんで食べていると思います。喫食率も良いです。向かい合わせにすると、話をしてしまって食べ進まないと思います。給食の時間の最後の5分をもぐもぐタイムとして、黙食でやってきました。

(谷委員)

・職員室の先生も昔は会話をしていましたが、今はしんとしています。皆黙々と食べています。時間的なものを考えても前向きの方がしっかり食べるイメージです。

(平山委員)

・はっきりしたものがないので現場の意見でよいのではないのでしょうか。

■箸について

(佐藤栄養教諭)

・予備のスプーンは職員室だけにつける、ということになっています。手間が変わるわけではないので、学校次第で大丈夫です。

【会長】(塚越校長)

・学校で貸し出して保管となるということでしょうか。

(佐藤栄養教諭)

・ずっとスプーンとするのであれば手引きから箸の貸し出しを削除し、スプーンの貸し出しを追加します。

(田中教諭)

・児童は麺をスプーンでもなんとか食べています。

【会長】(塚越校長)

・職員の手間としてはスプーンのままの方がありがたいと思います。

(高野委員)

・器用に食べているが、マナーの観点から箸を使って食べるということをはじめたのだと思います。たまたま忘れたということであればこのままスプーンでもよいのではないのでしょうか。箸の貸し出しをしていた時よりも、箸を忘れた子が減ったというイメージです。

(谷委員)

・箸を忘れる子が減るとするのは良いことなので、スプーンのままがよいのではないのでしょうか。

■牛乳パックについて

【会長】(塚越校長)

- ・小学校1年生にやらせるのは大変だと思います。感染症の観点から今の形のままでよいか、環境に配慮しリサイクルをするかいかがでしょうか。中学校もしばらくやっていないので大変だと思いますが、小学校はかなり大変だと思います。

■結果

全て現状のとおりとする。引き続き検討する。

6 その他

【会長】(塚越校長)

次に 「6 その他」 何かございますか。

(意見、質問なし。)

それでは以上で議事を終わります。

本日は、お忙しい中、第1回学校給食運営審議会に御出席いただきありがとうございました。皆様のご協力により、滞りなく議事進行できました。事務局へ進行をお返しします。

7 閉会

【事務局】(小川副課長)

塚越会長、ありがとうございました。また、他の委員の皆様におかれましても、議事進行に御協力をいただきまして、ありがとうございました。

本年度の学校給食運営審議会は本日の1回開催としたいと考えております。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回学校給食運営審議会を閉会いたします。

皆様、おつかれさまでした。